



「安心して学び育つ学校へ～新たな船出～」

校長 明石 慶三

暖かな春の日差しに包まれ、桜が満開を迎え草木も芽吹き、心が浮き立つような新しい季節となりました。つつじヶ丘小学校でも、昨日無事に入學式を終え、94名の新1年生を迎えました。全校児童は635名となり、新たな1年のスタートを切ったところです。

このたび、4月よりつつじヶ丘小学校に校長として着任いたしました明石慶三（あかしけいぞう）と申します。3年ぶりのつつじヶ丘小学校への復帰となり、再びこの学校の一員

として歩めることを大変うれしく思っております。子どもたち一人ひとりが安心感に包まれ、笑顔で過ごせる毎日を大切にしながら、それぞれが持つかけがえのない「光」がより一層輝くよう、先頭に立って取り組んでまいります。「明るく照らす石」のような存在を目指し教職員一同力を合わせて歩んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では昨年度より「安心感」をキーワードに、子どもたちが心から安心して過ごし、自分らしさを発揮しながら学び、成長できる学校づくりに力を注いでいます。大人の目から見ると、子どもたちはまだまだ未熟に映るかもしれませんが、実はその胸の中にはすでにしっかりとした意志や願いを持っています。これはとても喜ばしいことであり、同時に、社会の中でたくましく生き抜く力を育てていくためにも、日々小さな経験を積み重ねていくことが何よりも大切です。

学校は、子どもたちにとっての小さな社会です。喜びや失敗、葛藤や達成感といったさまざまな経験を通して、自らの足で一步一步進んでいく「成長」の場だと考えています。その道のりをしっかりと歩むためにこそ、「安心感」が必要不可欠です。しかし、この安心感は大人から一方的に与えるものではなく、子どもたちの気持ちや不安に気づき、共に考え、寄り添い、支えていくなど、「ともに感じ合う」ことで、子どもたちの心に少しずつ育まれていくものだと思います。そのためにも、日々の対話を大切にしていきます。子どもたち、教職員、そして保護者や地域の皆様としっかりとつながり合い、それぞれの強みを生かしあうことで、安心感のある温かな学校づくりを進めてまいります。

その強みの一つになるのが、今年度4月より本校に開設される「通級指導教室（ことばの教室）」です。この教室では、聞こえや言葉、コミュニケーション面で支援が必要なお子様に対し、それぞれの教育的ニーズに合わせた指導や支援を行います。あわせて相談も受け付けておりますので、お子様の発達や成長について気になることがございましたら、どうぞ担任を通じてお声がけください。そして、本年度はつつじヶ丘小学校にとって記念すべき「創立50周年」の節目の年です。この大きな節目を、保護者の皆様、地域の皆様とともに喜び合い、祝い合える一年にしたいと思っています。すでに実行委員会も発足し、準備が始まっております。ぜひ多くの皆様のご協力を賜れば幸いです。

本年度も、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。子どもたちの健やかな成長のために、引き続き温かなご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「子どもたちの笑顔が主役の つつじ小」

令和7年度PTA会長 白崎 徹也

令和7年度が始まり、大きなワクワクと小さなドキドキを笑顔に包んで、94名の新1年生が入學してまいりました。新1年生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生の皆さん、進級おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。また、日頃よりPTA活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ここ数年のPTA活動につきましては、コロナ禍の影響を受ける中、子どもたちの喜ぶ顔を原動力に、できる範囲で、できる限りのことに工夫して取り組んでまいりました。保護者の皆様におかれましても、それぞれの場面で多くのご協力をいただき、大変ありがとうございました。今年度のPTA活動につきましても、会員の皆様とともに、学校・地域と協力し、子どもたちの心身ともに健やかな成長に貢献できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

さて、令和7年度はつつじヶ丘小学校が昭和50年に開設されて以来、50年目の節目を迎えます。私自身、つつじヶ丘小学校の卒業生であり、数年前からは保護者として再び小学校に足を踏み入れる機会をいただく中で、校舎や校庭の様子に当時の面影を見つけては懐かしく思い、自校給食からセンター給食に変わったことによる調理室の変化に寂しさを覚えたりしておりました。私自身PTA会長として甚だ微力ではございますが、令和7年度の役員一同、力を合わせて役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

